

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【公表番号】特表2012-509124(P2012-509124A)

【公表日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-016

【出願番号】特願2011-536944(P2011-536944)

【国際特許分類】

A 6 1 L 15/58 (2006.01)

A 6 1 K 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 15/06

A 6 1 K 33/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 3/10

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/02

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月19日(2012.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

i) エラストマー系接着剤組成物と、

ii) 放出可能な状態で吸着された一酸化窒素を含み、前記エラストマー系接着剤組成物中に分散されたゼオライトと、

を含む、皮膚用包帯剤組成物として用いられる包帯剤組成物。

【請求項2】

99.5~30重量%のエラストマー系接着剤組成物と、0.5~70重量%のゼオライトとを含む、請求項1に記載の包帯剤組成物。

【請求項3】

前記エラストマー系接着剤組成物が、15~100重量%のエラストマーと、0~85重量%の親水コロイドとを含む、

請求項1又は2に記載の包帯剤組成物。

【請求項4】

前記ゼオライトが、ゼオライトP、ゼオライトA、ゼオライトX、ゼオライトY、及びそれらの混合物から選ばれる、

請求項1~3の何れか1項に記載の包帯剤組成物。

【請求項5】

前記ゼオライトが、遷移金属カチオンを、正電荷を付与する骨格外金属カチオンとして含む、

請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載の包帯剤組成物。

【請求項 6】

前記遷移金属カチオンが、C o、F e、M n、N i、C u、Z n、A g又はそれらの混合物である、

請求項 5 に記載の包帯剤組成物。

【請求項 7】

前記ゼオライトが乾燥ゼオライトである、

請求項 1 ~ 6 の何れか 1 項に記載の包帯剤組成物。

【請求項 8】

前記エラストマー系接着剤組成物は、親水コロイド系接着剤組成物であり、

前記親水コロイド系接着剤組成物が、当該親水コロイド系接着剤組成物の重量で、1 5
~7 0 重量%の親水コロイドと、3 0 ~ 8 5 重量%のエラストマーとを含む、

請求項 1 ~ 7 の何れか 1 項に記載の包帯剤組成物。

【請求項 9】

付加的な、薬剤として活性な物質をさらに含み、前記物質が創傷治療剤である、

請求項 1 ~ 8 の何れか 1 項に記載の包帯剤組成物。

【請求項 10】

高齢患者又は糖尿病患者の慢性の創傷を含む創傷の治療用である、

請求項 1 ~ 9 の何れか 1 項に記載の包帯剤組成物。

【請求項 11】

前記包帯剤組成物が体の表面からの液体からの水と相互作用する際に、前記体の表面へ
の一酸化窒素の徐々の放出をもたらす用途用の、

請求項 1 ~ 1 0 の何れか 1 項に記載の包帯剤組成物。